

冬季無災害運動 推進中!

～冬季に発生しやすい北陸特有の災害に対する防止対策に取り組みましょう～

実施
期間

令和3年

12/1

令和4年

2/28



この道、
絶対すべる...

CHECK POINT

凍結による転倒災害を防ぐために

- 時間に余裕をもって、急がず、小さな歩幅で歩行しましょう
- 駐車場等は除雪・融雪し、凍結防止剤を散布しましょう
- 職場の危険マップを作成し、適切な履物を着用しましょう
- 天気予報に気を配りましょう



携帯用かんしきの例



ヒートマットの設置例



スリップによる 交通災害を 防ぐために

CHECK POINT

- 早めに冬用タイヤを装着!
- 急ハンドル、急ブレーキ、急発進はしない!
- 無理のない走行計画を!
- 交通安全マップを作成!



除雪機械による 災害を 防ぐために

CHECK POINT

- 機械の故障、点検時にはエンジン停止!
- 運転時には周囲を確認!
- 除雪範囲内への立入禁止徹底!



屋根除雪中の 墜落災害を 防ぐために

CHECK POINT

- 2名以上での作業を!
- 保護帽と墜落制止用器具着用!
- 作業計画を策定!
- 作業指揮者を選任!



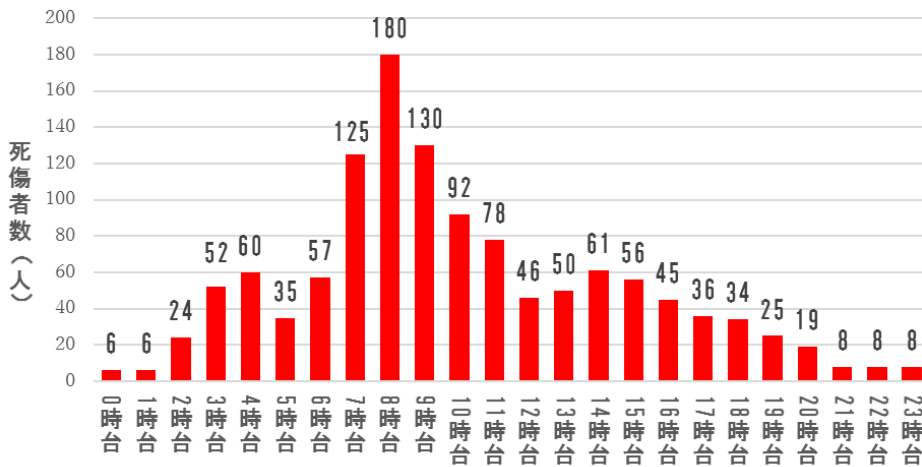
新潟・富山・石川・福井労働局・各労働基準監督署

冬季における転倒災害の概況(富山県内・過去10年)

富山県内における転倒災害による労働災害死傷者数（休業4日以上）は12月～2月にかけて増加する傾向にあり、その数は月平均でその他の月の2倍以上となっています。転倒災害の発生傾向は以下のとおりとなっておりますので転倒災害防止のためにご留意ください。

Q. 転倒災害が発生する時間帯は？

転倒災害による発生時間帯別死傷者数（過去10年、12月～2月）

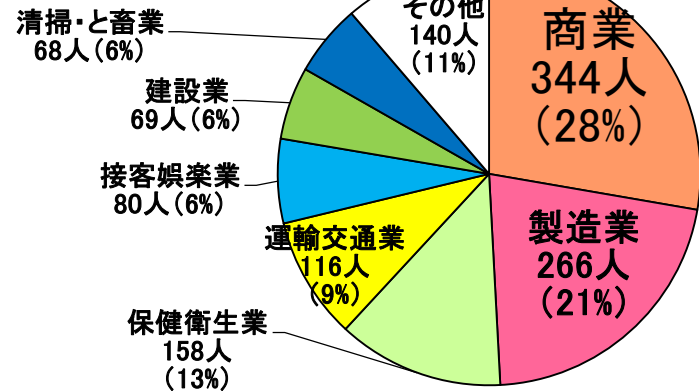


A. 深夜に降雪等が凍結するなどし、通勤時間帯である7時から9時台で転倒災害の発生が多くなっています。
 B. 駐車場で車の乗り降り時や建物の入り口の転倒防止対策を実施しましょう。

Q. どんな業種での転倒災害が多いの？

A. 商業での発生が最も多く、次いで製造業、保健衛生業での発生が多くなっています。
 必ずしも屋外で主に働く業種での被災が多くなっているわけではないことに注意が必要です。

転倒災害の業種別死傷者数（過去10年、12月～2月）



Q. 何歳ぐらいの方が多く被災しているの？

A. 60歳以上の被災が最も多く、次いで50代の被災が多くなっています。
 50歳以上の被災者が全体の7割以上を占めていることに注意が必要です。
 また、高年齢者の場合、休業期間が長期化する傾向もみられます。

転倒災害の年代別死傷者数（過去10年、12月～2月）

